

明治三十三年創業  
**宮下製氷冷蔵株式会社**



本社／松尾営業本部／  
アイス信州飯田工場

- 本社所在地：長野県飯田市松尾代田900番地
- 事業概要：冰雪製造業・食品製造業・冷蔵倉庫業・冷凍物流事業
- 常時使用する従業員：91名（2025年3月時点）
- 現在の売上高：25億円（2025年3月期）
- 法人番号：7100001022794
- Web：https://www.m-ice.co.jp/

## 企業理念・100億宣言に向けた経営者メッセージ



代表取締役社長  
宮下 茂樹

冷力を基盤とした食品製造業で、猛暑時代の「新しい市場」を創造する

「信州の大地と共に生きる」をテーマに、恵まれた伊那谷の水環境「信州深層天然水」を生かす製氷事業、信州の農畜産物を生かす自社開発の食品事業でオリジナリティを磨いてきました。今後は全国に原料産地を拡大し、地球温暖化に配慮した自然冷媒の冷力を基盤に、猛暑に苦しむ市場に対し新しい商品を開発し、新しい市場を創造していきます。開発型企業の原動力は人の情熱と英知。従業員が自己の重要感を感じながら働ける環境づくり、待遇改善にも積極的に取り組みます。

## 売上高100億円実現の目標と課題

### 実現目標

環境にやさしい冷力と、125年続く製氷事業、地域農産物を生かし、開発型企業として猛暑時代の新市場を創造、100億への成長を目指す。



### 課題

- ・ 現工場設備での受注に対する生産能力の限界
- ・ 半手作りラインをオリジナリティの高い中量生産ラインへ更新
- ・ 原材料確保のための全国農業生産者様の開拓、関係づくり
- ・ 能力増強に伴う原料・製品の冷蔵保管スペースの不足
- ・ 海外市場へのルート構築

## 売上高100億円実現に向けた具体的措置

### 目指す成長手段

- ・ 設備投資による生産能力増強
- ・ オリジナリティの高い中量生産ラインで独自性確立
- ・ 将来の能力向上に向けた敷地内建物の機能・動線を再構築
- ・ 次世代の核人材を巻き込んだ設備技術開発の研究・研修
- ・ 開発型食品メーカーとして市場ニーズ創造、新商品開発
- ・ 生産の市場対応能力底上げに伴う販売体制の強化
- ・ 季節性の平準化を図る、または相乗効果を高める企業M&A

### 実施体制

- ・ 設備投資に向けた
  - ①経営側の敷地内工場建設プロジェクト
  - ②生産側の工場内設備設計・導線プロジェクト
 を同時に立上げ、2027年3月の竣工を目指す
- ・ 原材料農産物の確保の為、食品生産部の購買部を新規立ち上げ人材配置
- ・ 購買部は積極的に全国農業生産者様を訪問し関係構築、量を確保する
- ・ 冷蔵倉庫についてスペースを有効利用できる新自動冷蔵システムを研究
- ・ 海外展開への販売パートナーまたは安全ルートを探す

※本宣言は企業自身はその責任において売上高100億円を目指して、自社の取組を進める旨を宣言するものです

売上高100億円実現までの事業別売上目標と成長手段

- 冰雪製造業では、中部圏の大手コンビニ向けの氷製品（袋詰め、アイスコーヒー用）製造と冷凍物流配送が主な事業である。
- 食品事業では、国産果実素材を生かす「生シロップ」、氷と融合させた「飲むかき氷」があるが現工場での製造量は限界にあり、設備増強で更なる需要に応えられる。
- 各地ブランド肉を使ったご当地「肉まん」、神社向け「酒まんじゅう」も開発から製造、冷凍配送まで一貫しており、地域おこしや特産品など新たな需要を拡大していく。
- 冷力、製氷技術、素材を大切にしたオリジナルの食品開発、冷凍物流、という当社の強みを生かし、全国農産物の振興とともに新商品で新しい市場を創造する。
- 冰雪製造、食品製造を行っている事の強みを活かし、冬季の安定収益に繋がる、または相乗効果を高められる企業買収を行い、製品群拡大を目指す。

売上高100億円実現までの事業別売上目標

